

Business Report *2014*

第137期 年次報告書 (平成25年12月1日~平成26年11月30日)



HOTEL NEW GRAND

株主の皆様へ

To Our Shareholders



当事業年度におけるわが国経済を顧みますと、消費税率引き上げによる個人消費鈍化の影響を受けながらも、景気は緩やかながら回復基調を維持してまいりました。

当ホテル業界におきましては、円安や東南アジア諸国に対するビザ発給要件の緩和などの政府の施策により訪日外国人客が増加いたしました。

こうした経済状況の下、当社におきましては、これからさらに100年、200年の時を刻む上で重要な経営資源であるホテル本館の大規模改修工事（第一期）を6月から9月にかけて実施いたしました。これに合わせて、50年前の東京オリンピックの際に設置したネオンサインを復元し、再点灯したところ、新聞各紙に掲載されるなど市民の皆様からの大きな反響をいただきました。工事期間中は、本館5階京料理「熊魚菴たん熊北店」、同階宴会場「スターライトルーム」及び本館客室（48室）の営業を休止いたしました。また、本館2階宴会場につきましても、土曜日を除き昼間時間帯の営業を休止いたしました。営業スペース縮小による売上減少を補うべく、外販新商品の開発、催事の積極的開催、国内外への営業強化、ホームページの全面リニューアル等の施策を展開し、売上確保に全力を注いでまいりました。

一方で、経費面におきましては、継続した経費削減及び効率的な経営に努め、収益の確保に邁進いたしましたが、工事期間中の売上減少による影響は大きく、誠に遺憾ながら、経常損失3億15百万円を計上することとなりました。

当事業年度の売上高は49億18百万円（前事業年度比10.9%減）、営業損失は3億15百万円（前事業年度は1億92百万円の営業利益）、経常損失は3億15百万円（前事業年度は1億94百万円の経常利益）、当期純損失は2億53百万円（前事業年度は1億4百万円の当期純利益）となりました。



代表取締役会長

原 範行



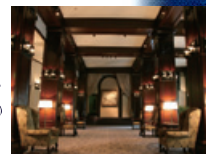
代表取締役社長

濱田 賢治



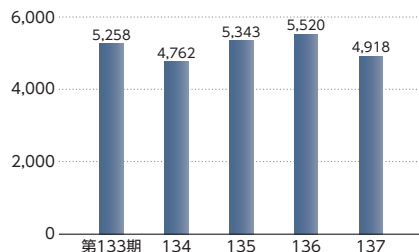
財務ハイライト

Financial Highlights



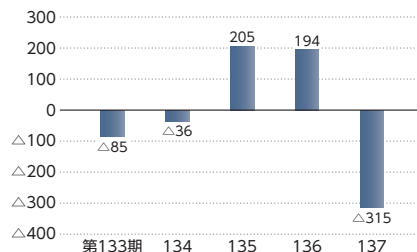
売上高

(単位：百万円)



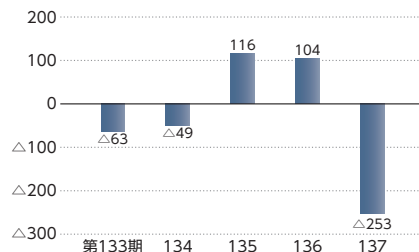
経常利益または経常損失

(単位：百万円)



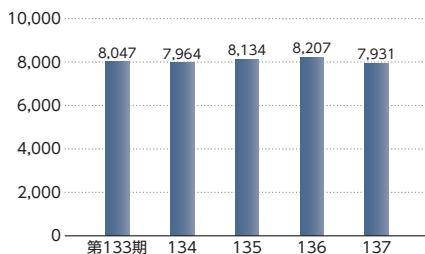
当期純利益または当期純損失

(単位：百万円)



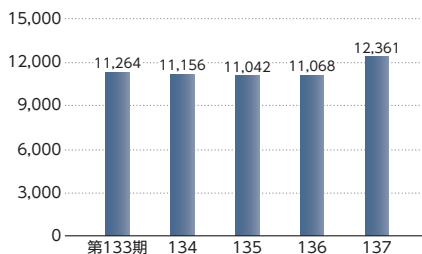
純資産

(単位：百万円)



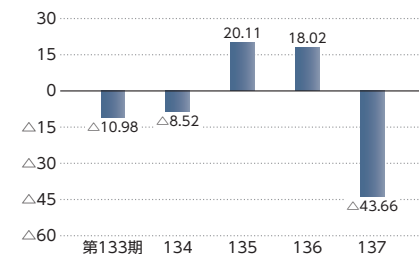
総資産

(単位：百万円)

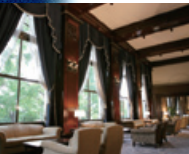


1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失

(単位：円)



区分	第133期 (平成22年11月期)	第134期 (平成23年11月期)	第135期 (平成24年11月期)	第136期 (平成25年11月期)	第137期 (平成26年11月期)
売上高(百万円)	5,258	4,762	5,343	5,520	4,918
経常利益または経常損失(△)(百万円)	△ 85	△ 36	205	194	△ 315
当期純利益または当期純損失(△)(百万円)	△ 63	△ 49	116	104	△ 253
純資産(百万円)	8,047	7,964	8,134	8,207	7,931
総資産(百万円)	11,264	11,156	11,042	11,068	12,361
1株当たり純資産額(円)	1,384.59	1,370.87	1,400.78	1,413.43	1,366.37
1株当たり当期純利益または1株当たり当期純損失(△)(円)	△ 10.98	△ 8.52	20.11	18.02	△ 43.66
自己資本比率(%)	71.4	71.4	73.7	74.1	64.2
自己資本当期純利益率(%)	△ 0.8	△ 0.6	1.5	1.3	△ 3.1



事業別概要と今後の課題

Business Review



■宿泊部門

本館大規模改修工事による縮小営業により、販売室数が前事業年度を下回り、売上高は11億4千万円（前事業年度比9.6%減）となりました。

■宴会部門

本館大規模改修工事による縮小営業により、婚礼及び一般宴会の件数が前事業年度を下回り、売上高は20億24百万円（同13.4%減）となりました。

■食事部門

本館大規模改修工事による縮小営業により、売上高は13億25百万円（同9.4%減）となりました。

この結果、ホテル部門の売上高は46億22百万円（同11.5%減）となりました。また、支店である高島屋横浜店 ルグラン及びそごう横浜店 パーシーガーディアンⅢは減収となり、賃貸ビルのグラントアネックス水町（テナントビル）他は増収となりました。

部門区別		売上高	構成比
		千円	%
ホテル	宿泊部門	1,104,115	22.4
	宴会部門	2,024,395	41.2
	食事部門	1,325,883	27.0
	その他の部門	167,739	3.4
ホテル部門合計		4,622,134	94.0
支店	高島屋横浜店 ルグラン	173,984	3.5
	そごう横浜店 パーシーガーディアンⅢ	62,327	1.3
	賃貸ビル グラントアネックス水町他	60,152	1.2
合計		4,918,598	100.0

■設備投資の状況

当事業年度は総額13億78百万円（うち、資産の取得は建設仮勘定の増加額も含めて10億92百万円）の設備投資を行いました。設備投資の主なものは、本館耐震補強・リニューアル第一期工事（10億55百万円）、客室無線LANケーブル敷設（44百万円）、タワー客室バルコニー防水補修（18百万円）、宴会場調光設備更新（22百万円）、グラントアネックス水町ビルカーリフト整備（12百万円）などです。

■対処すべき課題

国内におきましては、景気回復への期待感も高まる一方、労働人材不足や原材料高騰等への懸念もあって、まだまだ予断を許さない状況にあります。

当社を取り巻く環境といたしましては、本年3月14日に北陸新幹線の開業、JR宇都宮・高崎・常磐線の東京駅乗り入れに伴う東海道線との直通運転（上野東京ライン）が開始される予定で、北陸3県と首都圏双方において様々な催事が企画されております。また、上野東京ラインの開通により、埼玉県から地元神奈川県への直通列車も大幅に増加し、首都圏から多くのお客様の来館が期待されます。また、2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催までの間、2017年には当ホテル開業90周年、2019年には横浜開港160周年といったいくつかのエポックを迎えます。

かかる状況の下、当社は、引続き地元横浜における地位を確保し、株主の皆様への利益還元に向け競争力を高め、働き甲斐のある職場環境を構築し、事業価値の向上に堅実に努めてまいります。

なお、お客様や地域、周辺観光客の安全・安心の確実な確保とホテル機能向上を図るための本館大規模改修第一期工事が昨年無事完了いたしました。また、平成28年6月から9月にかけて、本館1階からM3階までを対象とした第二期工事も計画いたしております。一連の工事につきましては、当社の事業継続のため全力で乗り越えなければならない大きな試練であり、株主の皆様におかれましても何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

これらの課題に対しましては、外的環境諸条件の整いつつあるこの機会に、万全の体制を構築すべく、着実に克服してまいります。その社内体制といたしまして、昨今の多様化するリスクに対して管理を強化するとともに、コンプライアンスの一層の徹底を図り、企業の社会的責任を果たしてまいります。

87年に亘り着実に積み上げてきた高品質な料理やサービスを基盤とした横浜の迎賓館として、今後創業100年、200年を見据え、伝統を継承し、発展創造させるオンリーワンの存在であり続けます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



貸借対照表

(単位：千円)

科 目	当事業年度 2014.11.30	前事業年度 2013.11.30
(資産の部)		
流動資産	2,319,759	1,823,007
現金及び預金	1,660,977	1,421,709
売掛金	286,987	259,128
料飲材料	36,768	38,790
貯蔵品	43,923	45,599
前払費用	24,903	20,314
繰延税金資産	130,933	26,254
未収還付法人税等	52,908	—
未収還付消費税等	68,413	—
その他	14,802	12,020
貸倒引当金	△860	△810
固定資産	10,041,895	9,245,732
有形固定資産	9,779,332	9,005,767
建物	5,694,411	5,451,831
建物附属設備	797,222	403,676
構築物	16,858	18,267
機械及び装置	20,899	5,917
車両運搬具	3,497	4,431
器具及び備品	215,168	104,414
土地	2,972,803	2,972,803
建設仮勘定	58,472	44,424
無形固定資産	59,986	57,912
借地権	43,734	43,734
その他	16,252	14,178
投資その他の資産	202,576	182,052
投資有価証券	156,820	144,405
差入保証金	10,000	10,000
保険積立金	25,000	25,000
長期前払費用	378	2,647
繰延税金資産	10,377	—
資産合計	12,361,654	11,068,739

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

(単位：千円)

科 目	当事業年度 2014.11.30	前事業年度 2013.11.30
(負債の部)		
流動負債	1,385,162	1,056,653
買掛金	438,186	396,219
一年以内に返済する長期借入金	300,000	—
未払金	209,666	105,749
未払費用	254,449	268,338
未払消費税等	—	16,908
未払法人税等	—	57,500
未払事業所税	15,713	15,723
前受金	150,782	181,136
預り金	13,445	11,984
ポイント引当金	2,378	2,395
災害損失引当金	—	150
その他	538	548
固定負債	3,044,654	1,804,821
長期借入金	1,200,000	—
預り保証金	287,868	271,338
退職給付引当金	817,986	796,697
役員退職慰労引当金	152,449	141,053
繰延税金負債	—	9,380
再評価に係る繰延税金負債	586,351	586,351
負債合計	4,429,816	2,861,474
(純資産の部)		
株主資本	7,400,462	7,683,885
資本金	3,455,000	3,455,000
資本剰余金	3,363,010	3,363,010
資本準備金	3,363,010	3,363,010
利益剰余金	607,748	890,264
利益準備金	66,144	66,144
その他利益剰余金	541,604	824,120
買換資産圧縮積立金	525,184	550,853
繰越利益剰余金	16,419	273,267
自己株式	△25,296	△24,389
評価・換算差額等	531,375	523,379
その他有価証券評価差額金	16,924	8,928
土地再評価差額金	514,451	514,451
純資産合計	7,931,837	8,207,265
負債・純資産合計	12,361,654	11,068,739

財務諸表

Financial Statements



損益計算書 (要旨)

(単位: 千円)

科 目	当事業年度	前事業年度
	2013.12.1~ 2014.11.30	2012.12.1~ 2013.11.30
売上高	4,918,598	5,520,954
売上原価	1,545,309	1,762,005
売上総利益	3,373,289	3,758,949
販売費及び一般管理費	3,688,843	3,566,612
営業利益または営業損失(△)	△315,553	192,337
営業外収益	2,405	2,201
営業外費用	2,228	225
経常利益または経常損失(△)	△315,377	194,313
特別損失	64,946	1,392
税引前当期純利益または税引前当期純損失(△)	△380,323	192,921
法人税、住民税及び事業税	2,016	136,729
法人税等調整額	△128,857	△48,477
当期純利益または当期純損失(△)	△253,483	104,669

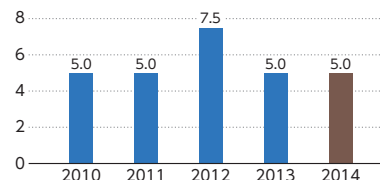
(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

■配当金について

利益配分につきましては、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策のひとつに位置づけております。このため長期に亘る安定的配当の継続を基本方針とし、節目においては記念配当を実施するなど利益の還元に努めてまいります。

また財務体質のより一層の強化のため、内部留保の充実に努める一方で、施設・設備の充実等将来のための有効投資もしてまいります。

配当金の推移 (単位: 円)



株主資本等変動計算書 当事業年度 (2013.12.1~2014.11.30)

(単位: 千円)

	株 主 資 本							評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金			自己 株式	株主 資本 合計	その他 有価証 券評価 差額金	土 地 再評価 差額金		評価・ 換算 差額等 合計
		資 本 準備金	資 本 剰余金 合計		そ の 他 利 益 剰 余 金	買 換 資 産 圧 縮 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金						
当期首残高	3,455,000	3,363,010	3,363,010	66,144	550,853	273,267	890,264	△24,389	7,683,885	8,928	514,451	523,379	8,207,265
当事業年度中の変動額													
剰余金の配当							△29,033		△29,033				△29,033
当期純損失							△253,483		△253,483				△253,483
任意積立金の取崩					△26,702	26,702	-		-				-
税率変更に伴う買換資産 圧縮積立金の増加					1,033	△1,033	-		-				-
自己株式の取得								△907	△907				△907
株主資本以外の項目の当事業 年度中の変動額 (純額)										7,995		7,995	7,995
当事業年度中の変動額合計	-	-	-	-	△25,668	△256,847	△282,516	△907	△283,423	7,995	-	7,995	△275,427
当期末残高	3,455,000	3,363,010	3,363,010	66,144	525,184	16,419	607,748	△25,296	7,400,462	16,924	514,451	531,375	7,931,837

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。



株式の状況／会社の概要

Stock Information / Corporate Data



株式の状況 (2014年11月30日現在)

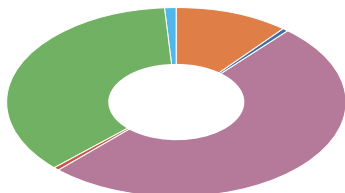
① 発行可能株式総数	23,000,000株
② 発行済株式の総数	5,856,400株
③ 株主数	867名
④ 大株主 (上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
原 範行	431千株	7.42%
株式会社フォースアンドカンパニー	431	7.42
株式会社横浜銀行	285	4.91
清水建設株式会社	235	4.04
東日本旅客鉄道株式会社	219	3.77
野村弘光	216	3.73
麒麟麦酒株式会社	165	2.84
上野興産株式会社	164	2.83
セコム株式会社	160	2.75
株式会社高島屋	145	2.49

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己株式 (51,336株) を控除して計算しております。

●所有者別株式分布状況

■金融機関	7名	642千株	10.97%
■証券会社	4名	1千株	0.02%
■その他の法人	89名	2,997千株	51.18%
■外国法人等	5名	1千株	0.02%
■個人・その他	761名	2,161千株	36.90%
■自己株式	1名	51千株	0.87%



会社の概況 (2014年11月30日現在)

創 立	1926年7月6日
創 業	1927年12月1日
資 本 金	34億5,500万円
主な事業内容	ホテル経営
従 業 員 数	301名 (内正社員外129名)

取締役及び監査役の状況 (2015年2月26日現在)

代表取締役会長	原 範 行
代表取締役社長	濱 田 賢 治
常 務 取 締 役	吉 田 一 継 (営業部門統括 総支配人)
常 務 取 締 役	里 見 辰 彦 (管理部門統括)
取 締 役	野 村 弘 光
取 締 役	上 野 孝
取 締 役	佐々木 寛 志
取 締 役	清 水 三 省
取 締 役	宇佐神 茂 (総料理長)
取 締 役	岸 晴 記 (経理部長)
常 勤 監 査 役	小 島 偉 義
監 査 役	勝 治 信
監 査 役	野 村 哲 也
監 査 役	岡 崎 真 雄

(注) 1. 取締役上野 孝、佐々木寛志、清水三省の3氏は社外取締役であります。
2. 監査役勝 治信、野村哲也、岡崎真雄の3氏は社外監査役であります。
3. 常勤監査役小島偉義氏は、当社の経理部担当役員として平成19年2月まで通算10年に亘り決算手続ならびに財務諸表の作成に従事しており、財務・会計に関する相当程度の知見を有しております。
4. 当社は、取締役上野 孝氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株主メモ

- 事業年度 12月1日から11月30日まで
- 定時株主総会 毎年2月に開催
- 単元株式数 1,000株
- 期末配当金受領株主確定日 11月30日
- 中間配当金受領株主確定日 5月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
- 公告掲載URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によること
ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。)
- 証券コード 9720
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (JASDAQ市場)

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。
4. 平成27年6月1日をもって単元株式数を1,000株から100株に変更し、当社普通株式5株を1株に併合することに決定いたしました。

(ご案内)

1. 平成26年以降の上場株式等の配当等に係る源泉徴収税率について
平成26年1月1日以降に個人の株主様が支払いを受ける、上場株式等の配当等には、原則として20.315% (※)の源泉徴収税率が適用されます。
(※) 所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%。
なお、株主様によっては本ご案内の内容が当てはまらない場合もございます。詳細につきましては、最寄の税務署、税理士等にお問合せください。
2. 少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて
新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「株式数比例配分方式」をお選びいただく必要があります。ご所有の株式のうち、特別口座に登録された株式をお持ちの株主様は「株式数比例配分方式」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。



株式会社ホテル、ニューグランド

〒231-8520 神奈川県横浜市中区山下町10番地

TEL 045-681-1841 URL <http://www.hotel-newgrand.co.jp>